

Anjo
Community
based
Rehabilitation
Network

Since 2012



リハビリネット部会

(安城地域リハビリネットワーク)

副代表
理学療法士
小笠原 巧

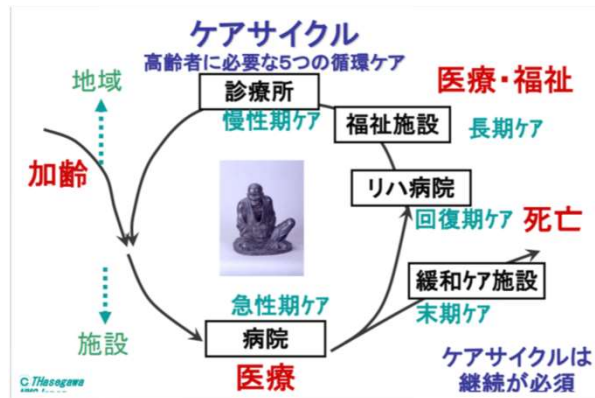
 

安城地域リハビリネットワーク acrnofficer@gmail.com

リハビリテーションに関する地域課題は、
リハビリ専門職が解決しないで、誰がやるのか？

2012年6月に正式発足し、約10年の活動を続けています。

ケアサイクルとリハビリテーション



出典：
長谷川敏彦 第2回医療介護福祉政策研究フォーラム「研究実験国家」日本から発信する最先端医療「ケアサイクル」2013

リハビリテーションは単一事業所で完結するわけではない。

まるで**地域が一つの機関のように機能する**仕組みをつくる



まるで**地域が一つの機関のように機能する**仕組み
今までしてきたこと

リハ資源・顔の見える化

- ・市内全事業所のリスト化
- ・サマリーの書式統一
- ・事業所間研修の開催
- ・親睦会の開催

人材育成

- ・勉強会の開催
- ・学術報告会の開催
- ・最新の情報を配信

地域の健康増進・介護予防

- ・salonあんちゃん開始
- ・一般介護予防事業に参入
- ・総合事業への参入
- ・多職種、一般市民へ研修会講師

リハ及び当会の啓蒙

- ・ケアマネ、社会福祉協議会との意見交換会
- ・他市での講演会
- ・SNSでの活動の発信
- ・リーフレットの作成

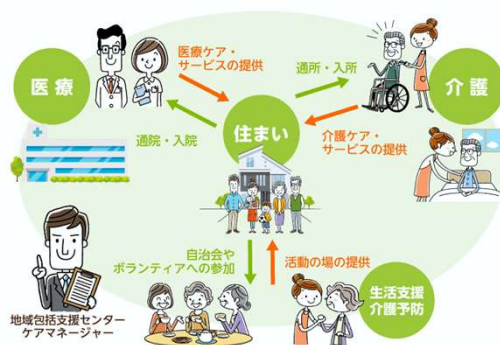
高齢者が住み慣れた地域で安心して、
できる限り健康で自立した生活を送るためには、
安城市版地域包括ケアシステムの深化・推進が必要である。

安城市の介護予防事業の方向性

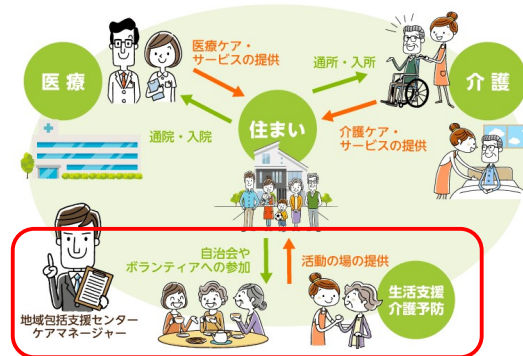
単なる介護保険サービスだけに限定するケアマネジメントから脱却し、

その人に本当に必要な場所や支援を介護保険サービスに**限定せず**、

幅広く探し、**無ければ創り出し、組み合わせる**ケアマネジメントが必要。



図：地域包括ケアシステムのイメージ



住民主体の集いの場への間接支援

- ・月1回以上開催する集いの場には生活支援コーディネーターによる伴走支援
- ・リハビリテーション活動支援事業：サロン介入
サロン運営者への健康志向の支援

平成27年度80か所 → 令和元年度末183か所

箇所数、参加者数ともに同一人口規模の自治体と比べて多い状況に。
さらに町内健康体操教室を70か所で開催するなど、一般介護予防事業は充実してきた。

一方で

- ・住民主体の通いの場は充実しつつあるものの、要支援認定を受ける等何らかの支援が必要になっても参加を続けられるような場は多くない。
- ・「通いの場」の担い手が固定化、高齢化し、生きがいを得られる以上に負担に感じる人もおり、活動を継続することが困難になってきている場所もある。

療法士にできることには・・・

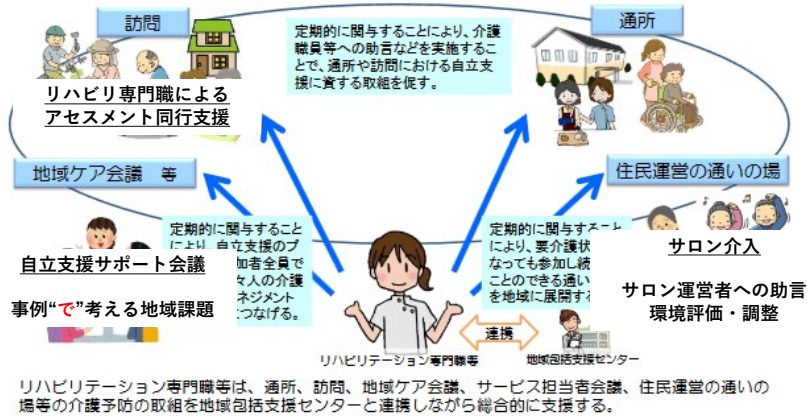
生活機能向上等の高齢者本人への支援だけではなく、
地域づくり等の高齢者本人を取り巻く環境へのアプローチも含めたバランスのとれた取組みを実施する必要がある。

Q.

地域リハビリテーション活動支援事業とは？

Google検索してみてください。

○ 地域における介護予防の取組を機能強化するために、通所、訪問、地域ケア会議、サービス担当者会議、住民運営の通いの場等へのリハビリテーション専門職等の関与を促進する。



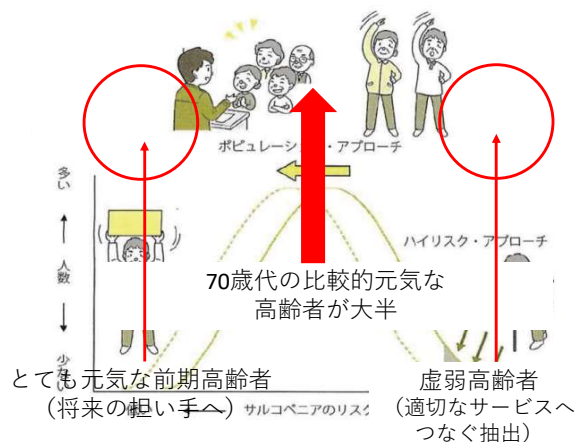
安城市は

三士会協定（愛知県理学療法士協会・作業療法士協会・言語聴覚士協会）のモデル事業

参加者層の把握と関わり方（将来の担い手／ハイリスクアプローチ）

- 1 ハイリスク戦略
リスクの高いものを抽出して、積極的な介入を行う

- 2 ポピュレーション戦略
母集団に対して、消極的（広く浅く）な介入を行う



4.9%

高齢者のうち通いの場への参加している割合

通いの場に参加していない人のうち、支援が必要な人へのアプローチが重要。

専門職によるアウトリーチの取り組みの強化が必要である。

安城市では、来年度から・・・

「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」を推進していく予定

高齢者保健事業と一体的な介護予防

- ・高齢者を対象としたフレイル健診
- ・「後期高齢医療健康診査問診票」結果

必要に応じて、医療や介護予防等につなげていくための健康診査

あんジョイプラン9（R3年度～5年度）

相談窓口で把握した基本チェックリスト等を活用して、フレイル高齢者にとって特に効果が上がりやすい、リハビリ専門職による短期集中型介護予防サービスや、福祉センターで開催する介護予防教室につなげる仕組みを作ります。また、社会とのつながりや日ごろの運動が必要と考えられる高齢者に、サロンへの参加につなげる取組みを推進します。

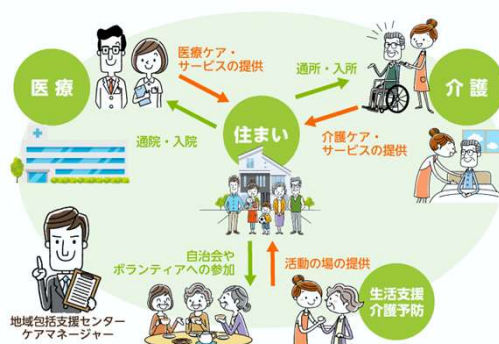


安城市の介護予防事業の方向性

単なる介護保険サービスだけに限定するケアマネジメントから脱却し、

その人に本当に必要な場所や支援を介護保険サービスに限定せず、

幅広く探し、無ければ創り出し、組み合わせるケアマネジメントが必要。



図：地域包括ケアシステムのイメージ

生活機能向上等の高齢者本人への支援だけでなく、地域づくり等の高齢者本人を取り巻く環境へのアプローチも含めたバランスのとれた取組みを実施する必要がある。